

<p style="font-size: 1.2em; margin: 0;">屋内消火栓設備試験結果報告書</p> <p style="margin: 10px 0;">試験実施日      年    月    日</p> <p style="margin: 10px 0;">試験実施者</p> <p style="margin: 10px 0;">住 所</p> <p style="margin: 10px 0;">氏 名 <span style="float: right;">(印)</span></p>												
用 途	(    ) 項			構 造	A      B      C							
延べ面積	m <sup>2</sup>			階 数	地上      階    地階      階							
試 験 項 目				種 別 ・ 容 量 等 の 内 容					結 果			
外	水	源	水源の種類・構造									
			水 量		m <sup>3</sup> (縦    m横    m有効深さ    m)							
			吸水障害防止措置		有    ・    無							
			給 水 装 置		————							
			耐 震 措 置		有    ・    無							
観 試 験	加 圧 送 水 装 置	ポンプを用いるもの	設 置 場 所									
			ポンプの仕様		製造者名			定格吐出量		ℓ/min		
					型式			定格全揚程		m		
			電動機の仕様		製造者名			種別		型電動機		
					型式			定格電圧		V		
					製造番号			定格電流		A		
			ポンプ・電動機		設置状況		————					
					接地工事		種接地					
					配 線		————					
					潤 滑 油		————					
			水温上昇防止のための逃し装置		配管・バルブ類		管の呼び		A			
					オリフィス等		流過口径		mm			

試 験 項 目			種 別 ・ 容 量 等 の 内 容	結 果		
外 加 圧 を 用 い る も の 起 動 装 置  高 架 水 槽 を 用 い る も の  圧 力 水 槽 を 用 い る も の	ポ ン プ	水温上昇防止のための逃し装置	ブースターポンプに設ける逃し配管・逃し装置	逃し配管の高さ m 逃し装置の設定圧力 MPa		
		性能試験装置の配管・バルブ類		—————		
		呼 水 装 置	材 質	鋼板製 ・ 合成樹脂製		
			水 量	ℓ		
			溢水用排水管	管の呼び		A
			呼 水 管	管の呼び		A
			補 給 水 管	管の呼び		A
			減水警報装置	フロートスイッチ ・ 電極		
		制 御 装 置	設 置 場 所	—————		
			制 御 盤	—————		
			予 備 品 等	—————		
			接 地 工 事	種接地		
		圧力計・連成計	設 置 位 置	—————		
			性 能	級		
		直 接 操 作 部	設 置 場 所 等	—————		
			表 示	—————		
		遠 隔 操 作 部	設 置 場 所 等	—————		
			構 造	—————		
			表 示	—————		
		遠 隔 自 動 起 動 装 置 (易操作性1号・2号消火栓)		—————		
		起 動 用 水 圧 開 閉 装 置	起 動 用 圧 力 タ ン ク	第2種圧力容器 ・ 高圧ガス圧力容器		
			タ ン ク の 容 量	ℓ		
			配 管 ・ バ ル ブ 類	管の呼び		A
高 架 水 槽 を 用 い る も の	構 造	—————				
	内 容 積 ・ 落 差	m <sup>3</sup> m				
	配 管 ・ バ ル ブ 類	—————				
	水 位 計	—————				
圧 力 水 槽 を 用 い る も の	種 類 ・ 構 造	第2種圧力容器 ・ 高圧ガス圧力容器				
	内 容 積 ・ 有 効 圧 力	m <sup>3</sup> MPa				

試 験 項 目			種 別 ・ 容 量 等 の 内 容										結 果						
外 観	加 圧 送 水 装 置	圧 力 水 槽 を 用 い る も の	自 動 加 圧 装 置	有 ・ 無															
			配 管 ・ バ ル ブ 類	_____															
			水 位 計 ・ 圧 力 計	_____															
	耐 震 措 置			有 ・ 無															
	設 置 状 況																		
	配 管 ・ バ ル ブ 類	機 器	配 管	_____															
			バ ル ブ 類	_____															
			吸 水 管	_____															
			フ ー ト 弁	_____															
	耐 震 措 置			有 ・ 無															
電 源	常 用 電 源		V																
	非 常 電 源 の 種 類		専 用 受 電 ・ 自 家 発 電 ・ 蓄 電 池																
試 験	消 火 栓	消 火 栓 の 設 置 個 数	階															—	
			1 号 消 火 栓																—
			2 号 消 火 栓																—
	消 火 栓	設 置 場 所		_____															
		周 囲 の 状 況 ・ 操 作 性		_____															
		開 閉 弁 設 置 高 さ		床 面 か ら の 高 さ m															
		ホ ー ス 接 続 口		1 号 消 火 栓 ・ 易 操 作 性 1 号 消 火 栓 ・ 2 号 消 火 栓															
		消 火 栓 開 閉 弁		_____															
	等	周 囲 の 状 況		_____															
		設 置 状 況		_____															
		材 質 等		_____															
		表 示 灯		_____															
		表 示		_____															
ホ ー ス ・ ノ ズ ル	ホ ー ス ( 結 合 金 具 を 含 む 。 )		1 号 消 火 栓 ・ 易 操 作 性 1 号 消 火 栓 ・ 2 号 消 火 栓																
	ノ ズ ル		1 号 消 火 栓 ・ 易 操 作 性 1 号 消 火 栓 ・ 2 号 消 火 栓																
	結 合 状 態		_____																

試 験 項 目				種 別 ・ 容 量 等 の 内 容		結果		
			収 納 状 態	ホースリール式・折畳等収納式・その他				
			減 圧 措 置	減圧補助水槽・別配管系統・減圧弁				
機 能 試 験	加 圧 送 水 装 置 の 試 験	呼 水 装 置 作 動 試 験	減水警報装置作動状況		底面からの高さ	cm		
			自動給水装置作動状況		————			
			呼水槽からの水の補給状況		————			
		制 御 装 置 試 験	起動・停止操作時の状況等		————			
			電源切替時の運転状況		————			
		起 動 装 置 試 験 ・ ポ ン プ 始 動 表 示 試 験	ポンプの起動状況等		————			
			始動表示の点灯状況		————			
			起動用水圧開閉装置の 作 動 圧 力		設定圧力	MPa		
					作動圧力	MPa		
		ポ ン プ 試 験	運 転 状 況		————			
	※縮切り運転 時の状況		縮切揚程		m			
			電 圧		V			
			電 流		A			
	※定格負荷運 転時の状況		定格揚程		m			
			電 圧		V			
		電 流		A				
	※水温上昇防止装置試験			逃し水量		ℓ/min		
	※ポンプ性能試験装置試験			表示値の差		ℓ		
	高 架 水 槽 を 用 いる も の	作 動 試 験	給水装置作動状況		————			
		静 水 圧 測 定		最下位	m	最上位	m	
圧 力 水 槽 を 用 いる も の	作 動 試 験	給水装置作動状況		————				
		自動加圧装置作動状況		————				
		静 水 圧 測 定		最下位	MPa	最上位	MPa	
配 管 耐 圧 試 験				試験圧力		MPa		
総 合 試 験	放 水 試 験	————	消火栓番号	放 水 圧 力		放 水 量	—	
		同 時 放 水 試 験		MPa		ℓ/min		
				MPa		ℓ/min		
個 別			MPa		ℓ/min			

試 験 項 目		種 別 ・ 容 量 等 の 内 容	結 果
総合試験	操作性試験（易操作性1号・2号消火栓）		ホースリール式・折畳等収納式
	非常電源切替装置	自家発電設備	————
		蓄電池設備	————
備			
考			

- 備考1 この用紙の大きさは、日本工業規格A4とすること。  
 2 選択肢のある欄は、該当する事項を○印で囲むこと。  
 3 Aは主要構造部を耐火構造とし内装制限したもの、Bは主要構造部を耐火構造としたもの又は準耐火建築物で内装制限したもの及びCはA及びB以外のものをいう。  
 4 ※印の試験は、「加圧送水装置の基準」(平成9年消防庁告示第8号)に適合している旨の表示が付されているものにあつては、省略することができる。  
 5 結果の欄には、良否を記入すること。  
 6 非常電源及び配線についての試験結果報告書を添付すること。  
 7 操作盤が設けられているものにあつては、操作盤についての試験結果報告書を添付すること。